

ワークショップの目的：市民主体のまちづくりを推進するため、具体的に何をやっていくべきかを考える

<西脇市の目指す姿>

市民一人ひとりが、地域社会に関心を持ち、住んでいる地域の現状や課題への理解を深めながら、主体的にまちづくりに取り組む姿

テーマ① 市民同士のネットワークについて考えるグループ

市民同士でどのように連携できるか？対話できるか？情報共有の場を設けるか？等

テーマ② 市民と行政の双方向のコミュニケーションについて考えるグループ

市民と行政でどのように連携できるか？若年層への周知をどのようにできるか？市民のリアルな声をまちづくりに反映させるには？等

テーマ③ まちづくり活動を促進させる具体的なアイデアを考えるグループ

まちづくり活動に参加した人に記念シールを配布する、地域自治協議会役員研修を実施する等

時間配分	プログラム	内容	狙い
： ～ ： (10分間)	個人ワーク	個人で付箋にアイデアを書き出す	なるべく多くのアイデアを考える
： ～ ： (25分間)	グループワーク	書き出したアイデアを貼りだしながらグループで共有 さらにそこから連携・発展アイデアを出す	アイデアを発展させる、ブラッシュアップしていく
： ～ ： (25分間)	グループワーク	出た意見をまとめる	良いと思うアイデア、実施可能なアイデアなど意見を整理する
： ～ ： (15分間)	全体共有	まとめた意見の発表	議論をまとめる 必要に応じて、議論を深めるための追加意見を出し合ったり、共通認識や新たなアイデアをまとめたりする

ワークショップのゴール：それぞれが思う目標（あるべき姿）を定め、その目標を達成させるアイデアを決める